

# 体育科学学習指導案

令和3年10月〇〇日（〇曜日）第〇校時5・6年〇組教室 指導者 〇〇 〇〇

## 1 単元名 表現運動（組み体操）

## 2 考察

### (1) 教材観

小学校体育科学学習指導要領「第3指導計画の作成と内容の取り扱い」第2の内容の取り扱いについては、次の事項に配慮するものとする。」とあり、(1)では、実態を考慮し個々に応じた指導や自ら運動の課題の解決を目指す活動を行えるように工夫すること。特に、運動を苦手と感じている児童への指導を工夫するとともに、障害のある児童などへの指導の際には、周りの児童が様々な特性を尊重するよう指導すること。また、(2)では、練習や作戦についての話し合いなど、コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促すための言語活動を積極的に行うことを受けて、本単元を設定したものである。

運動会は、児童にとって特別な日であり一人一人が活躍できる場である。また、集団活動を意識的に行うことができ、一人一人が仲間を意識して取り組むことができる。全校児童が1つの目標に向かって、運動会練習の授業の中で教師の働き掛けにより、通常学級と特別支援学級の児童同士が学び合いを通して、交流及び共同学習へつなげることができる。

運動会を成功させるためには、授業でどのように練習し、支援していくかが重要となる。第5学年及び6学年1目標学習指導要領に「(3) 各種の運動に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康や保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。」とある。活動内容を誰もが理解できるように工夫し、取り組みやすくすることや一人一人の課題に対して友達同士で意見を出し合いながら学び、解決していこうとする授業づくりをしていかなければならない。これらを通して、児童同士の助け合いやお互いを認め合うことができ、児童一人一人の心の変化が現れ、共同学習につながると考える。

### (2) 児童の実態及び指導方針（男子〇〇名 女子〇〇名 計〇〇名）

5年生は、授業に対して全体的に意欲をもって取り組み、準備や片付けを進んで行う児童が多い。忘れ物をする児童も少ない。技能面については、個々に応じて差が見られる場面があるが、諦めずに取り組む様子が見られる。チームで行うリレーやソフトバレーボールでは、仲間と協力して練習をすることができるようになっている。励ましの声掛けについて、教師が例を提示することで、チーム内で声を掛け合うことができる。

6年生は、授業に対して、意欲的に取り組む児童が多いが、やや消極的な児童も見られる。技能面については、練習を積むと着実に身に付けられる児童が見受けられる。励ましの声掛けは、教師が指示を出すと数人が声を掛けて取り組むことができる。

特別支援学級児童は、単元や場所に応じて参加が左右される。また、一度、授業で気に入らないことや友達との間がこじれるなど嫌なことがあると参加が難しい児童もいる。運動に対する苦手意識があり、分かりやすい動きは参加できるが、初めて行う動きに対してどのように体を動かすのか理解することが難しい。運動会については苦手としている児童が見受けられる。運動会練習時間の見通しをもち、時間を掛けて表現運動の動きや遊競技のルールを学習すると参加できる。

5・6年生の体育授業での特別支援学級児童との関わりは、教師が意図的に関わりをもたせる場面設定を行うことでなんとなく関わっている様子が見られる程度である。

### 3 研究との関わり

本単元において、「小学校体育科学習指導要領第2章体育科の目標および内容第1節教科の目標及び内容1教科の目標」に示されているように、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次の通り育成することを目指す」とある。

本研究との関わりでは、体育科の目標を達成するためには、一人一人が体育を楽しみながら活動に取り組み、できることの感覚を味わえるような授業の工夫をしていくことが求められる。そのためには、個が抱える体育授業に対するつまずきを知り、具体的な支援を提供することが必要となる。そこで、特別支援教育コーディネーターがつなぎ役となり、実態把握による体育の具体的な支援が分かるシートを作成する。特別支援学級児童が感じているつまずきを確認することができ、通常学級担任へ連絡することで、教師がよりよい支援で働き掛けられるようになることが考えられる。特別支援学級担任と通常学級担任の連携にもなり、児童に関わる教師が共通理解を図り、対応することができるようになる。

また、「中央教育審議会、健やかな体を育む教育の在り方に関する専門部会これまでの審議状況2. 体育の目的の具体的な内容—すべての子どもたちが身に付けるべきもの—」に記述されているように、「分かっている」「できて分かる」という関係において身体能力の向上は知識に支えられ、それら身体能力と知識の向上の学習過程において「考える」「工夫する」という思考・判断が重要となる。さらに、その学習の積み重ねによって、望ましい態度として形成される、とある。「(2) 態度 5) 「協力・責任」に関する態度・お互いの合意に基づいて仲間と助け合う、自分の責任を果たすなど、仲間と協力しようとする意志がある」と示されている。

これらのことより、本研究において、本単元の運動会に向けた練習は、集団の中で人と関わる経験を積むことができ、仲間と助け合うことや協力することを学ぶことができる、と考える。体育授業の中で、学び合いを中心にした授業展開は、互いの考えを知り、相手に伝わりやすい言葉で話そうとする気持ちの変化が見られ、友達のよさに気付くことができ、共生社会に向けた交流及び共同学習へと導くことができると考える。

### 4 単元の目標

- 組み体操の全体の動きの変化を理解し、一つ一つの動きの特徴を捉え技に取り組むことができる。  
(知識及び技能)
- 一つ一つの動きの課題について互いに見せ合い、よくなったところを自分の考えで伝えることができる。  
(思考力・判断力・表現力)
- 活動する場や身体の安全に気を配ること、互いの技の仕上がりを認め合い励まし合うことができる。  
(学びに向かう力・人間性等)

### 5 指導と評価の計画 (全7時間予定)

評価 規 準	知識・技能		○組み体操の全体の動きの変化を理解し、一つ一つの動きの特徴を捉えて技に取り組んでいる。			
	思考・判断・表現		○動きの課題について互いに見せ合い、提示された言葉から自分の考えに合った言葉を選択したり、自分の言葉で考えたりして、よくなったところを伝えている。			
	主体的に学習に取り組む態度		○友達と声を掛け合いながら助け合い、友達の取組を認め、場の安全に気を付け活動している。			
時程 (次)	過 程	○ねらい <div>めあて</div>	評価の観点			評価項目 〈方法〉
			知	思	態	
第1時	つかむ	○5・6年生合同で行う組み体操のテーマを聞き、さらに全体の動きを確認することで、学習の見通しをもつことができる	●			・合同体育の流れを知ること、自分と全体を意識した動きを取ろうとしてい

		<p>ようにする。</p> <p>組み体操の練習の流れを聞くことを通して、全部の技を知り、自分の立ち位置を確認しよう。</p>				<p>る。</p> <p>(観察)</p>
第2時	追究する	<p>○前時を振り返ることで流れを思い出すことができる。</p> <p>○5・6年生の技の見せ合いを行うことで、意識して技に取り組むことができる。</p> <p>5・6年生の技の見せ合いを通して、技のポイントに注意しながら取り組もう。</p>	●	●	●	<p>・技のポイントを知ることによって、一つ一つの技を覚えようとしている。(観察)</p> <p>・友達同士で課題について教え合っている。(観察)</p> <p>・友達の頑張りを認め、声を掛けるなど協力している。(観察)</p>
第3時 ～ 第4時		<p>○前時を振り返り、一つ一つの動きを思い出し、細かな動きを意識して踊ることができる。</p> <p>○ペアやグループ、全体を意識して動くことができる。</p> <p>友達を意識しながら動くことを通して、ペアやグループの技を完成させよう。</p>	●	●	●	<p>・流れを理解し、細かな動きに注意し取り組もうとしている。(観察)</p> <p>・自分と友達を意識しながら動こうとしている。(観察)</p> <p>・友達の動きを見ながらぶつからないように距離を保っている。(観察)</p>
第5時 ～ 第6時		<p>○前時を振り返り、細かな動きを意識し、全体の流れに沿って合わせて踊ることができる。</p> <p>○学級ごとや列のグループ等で見せ合い、互いの動きのよさに気付くことができる。</p> <p>太鼓の音を聞きながら取り組むことを通して、全体の動きが揃えられるようにしよう。</p>	●	●	●	<p>・始めから終わりまで、ポイント押さえ、ひと流れの動きで表現している。(観察)</p> <p>・友達の動きを見てよかったところを伝えている。(見せ合い観察)</p> <p>・全体を意識し、合わせようとしながら取り組もうとしている。(観察)</p>
第7時	まとめる	<p>○組み体操の構成を理解して踊ることができる。</p> <p>始めから終わりまでの流れを行うことを通して、練習してきた動きを全員で合わせられるように取り組もう。</p>	●		●	<p>・ポイントを押さえながら最初から最後まで技を連続して行おうとしている。(観察)</p> <p>・全体の動きに合わせて周りの動きを見ながら主体的に活動に取り組もうとしている。(観察・振り返り)</p>

6 本時の展開（1／7）※合同練習の前に各学年で技の練習をし、技を習得し始めている。

- (1) ねらい 5・6年生合同で行う組み体操のテーマを聞き、更に全体の動きを確認することで、学習の見通しをもつことができるようにする。
- (2) 準備 CDデッキ 笛 太鼓
- (3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 (C)個別の配慮を要する児童への支援 ◇評価 ◎研究上の手立て ☆授業の基本シートに関わる活動場面
<p>1 5・6年生合同の隊形で個々の位置確認をする。 全体練習時のルールを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の位置が分かった。</li> <li>・誰の隣か確認できた。</li> <li>・次に並べるか心配だな。</li> <li>・苦手な子が近くにいる。</li> </ul> <p>2 準備運動 組み体操で動かす部位の体操をする。</p> <div data-bbox="193 1563 906 1668" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>組み体操の練習の流れを聞くことを通して、全部の技を知り、自分の立ち位置を確認しよう。</p> </div>	10分	<p>☆「学級内の相互理解（個々の目標づくり）」について意識する場面 「一人一人が組み体操の目標を立てる」</p> <p>☆「授業の共有化」「ルーティン化」について意識する場面</p> <p>◎授業を受ける時のルールを明確にし、全体を統一する。（運動会練習は、教科担任だけではなく、学年の教員が入るため、誰もが同じ指導となるようにする）</p> <p>◎守るべきルールを提示する。（声に出して言うことで意識を高める）</p> <p>◎前から順番に座らせたり、隣の友達の名前を確認したり、自分の位置を認識する。</p> <p>◎早く並べるように、みんなで声を掛け合って並ぶことは、お互いを気に掛けられる行動であることを伝え、次回、実行することを伝える。</p> <p>(C) 気になる児童について周囲の友達関係を把握し移動できる場所があれば移動する。</p> <p>☆「ルーティン化」について意識する場面</p> <p>○準備運動は、笛の合図に合わせて行うことで統一感を意識できるようにする。</p> <p>○準備運動は、怪我のないようにどこを意識するか説明を加えながら行う。</p>
<p>3 本時のめあてをつかむ。 本時の課題理解 どこまでやるのか確認 合同練習初日は、練習してきた成果を見せ合う。（6年生→5年生） 全体で合わせる。 部分練習の動きの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の動きはきれいだな。</li> </ul>	30分	<p>☆「情報提供の工夫」「共通課題の設定」について意識する場面</p> <p>◎何を、どのように、どこまでするのかを提示することで、学習活動の共通理解を図る。</p> <p>○一度の説明で、たくさんの活動内容を伝えない。言葉は短く分かりやすく伝える。</p> <p>○動きの説明は、ポイントが意識できるような具体的な言葉を選ぶようにする。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの動きが揃っているな。</li> <li>・全体で合わせられるか心配だな。</li> <li>・できるか心配。</li> </ul>		<p>(C) 組み体操で難しい動きについて説明する。どうしてもできないときは、似た動き（手本を見せる）でよいことを伝え安心感をもてるようにする。</p> <p>(C) 手本となる友達の動きを見ながら最初はまねをしながらでよいことを知らせる。</p> <p>☆「ポイントやコツの動きを言語化」について意識する場面</p> <p>(C) 教師の口伴奏（擬音語等）を用いてイメージを膨らませやすいように伝える。</p>
<p>4 5・6年生一緒に組み体操を行う。</p> <p>太鼓の合図に合わせて行う。</p> <p>学年男女別の技に挑戦する。</p> <p>場所移動位置確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やってみたらできた。</li> <li>・手の動きが難しい。</li> <li>・分かっているけど体が思うように動かない。</li> </ul>		<p>☆「児童同士の学び合い」について意識する場面</p> <p>◎動きが止まっていたり、困っていたりしている児童に声を掛けることで、「やってみよう」という気持ちに向かえるようにする。</p> <p>○教師は、児童同士の関係が良好な近くにいる友達に「こんなふうに声を掛けて誘ってみて」等お願いをする。特別支援学級担任は、授業を観察し特別支援学級児童を手助けしてもらえるように周囲の友達に声掛けをしておく。</p> <p>☆「個別の配慮」について意識する場面</p> <p>(C) 教師、児童が動きの補助を行う。</p> <p>◇合同体育の流れを知ること、自分と全体を意識した行動を取ろうとしている。【知識・技能】</p>
<p>5 本時の課題をどこまで理解したか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かった。</li> <li>・なんとなく分かった。</li> <li>・よく分からない。</li> </ul> <p>学年担任からのまとめを聞く。</p>	5分	<p>☆「児童同士の伝え合い」について意識する場面</p> <p>◎今日の頑張ったことを隣の友達に伝え頑張りを認め合えるようにする。</p> <p>○何を伝えるのか、教師がキーワードを伝え、そのキーワードを使って言葉で伝えられるようにする。</p> <p>☆「参加の促進」について意識する場面</p> <p>児童が次時への意欲を高められるようにする。</p>

#### 本時の展開（2／7）

(1) ねらい 5・6年生の技の見せ合いをすることで、お互いの動きのよさを知り、一つ一つの技を更によくしていこうという意識をもつことができる。

(2) 準備 CDデッキ 笛 太鼓

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 (C) 個別の配慮を要する児童への支援 ◇評価 ◎研究上の手立て ☆授業の基本シートに関わる活動場面
<p>1 前時を振り返る。</p> <p>自分の位置確認をする。</p> <p>合い言葉を復唱する。</p>	10分	<p>☆「肯定的な雰囲気づくり」について意識する場面</p> <p>○自分の位置確認のため、授業が始まると同時に教師が指示を出す。児童は、自分の位置で待機するようにする。</p>

<p>2 準備運動</p> <p>組み体操で動かす部位の体操をする。</p>		<p>◎位置が分からない児童に声を掛けてあげることが忘れないように、付け足しの指示をする。</p> <p>○失敗してもいい、大事なことは一生懸命に行うことであるという思いを児童に伝える。</p> <p>◎友達を思う動きをすることで、技の一つ一つが完成されることに気付けるようにするため、教師は、毎時間、声を掛けることを忘れないようにする。</p> <p>☆「ルーティン化」を意識する場面</p> <p>○笛の合図に合わせて行うことで統一感を意識できるようにする。</p> <p>○準備運動は、怪我のないようにどこを意識するか説明を加えながら行う。</p>
<p>5・6年生の技の見せ合いを通して、技のポイントに注意しながら取り組もう。</p>		
<p>3 本時のめあてをつかむ。</p> <p>本時の課題理解</p> <p>どこまでやるかを確認する。</p> <p>習ったところまでの動きの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だいたい覚えていた。</li> <li>・まだ、よく分からない。</li> </ul> <p>動きの確認全体を見て、全員ができてきれいな技に変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あの動きやってみたい。</li> <li>・難しそうだけどやってみたい。</li> <li>・苦手なところがありそう。</li> <li>・できるか心配。</li> </ul> <p>4 部分練習（細かな動きの確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○6年生位置確認</li> <li>○5年生位置確認</li> <li>○全体で取り組む。</li> </ul>	<p>30分</p>	<p>☆「情報提供の工夫」「共通課題の設定」について意識する場面</p> <p>◎何を、どのように、どこまでするのかを提示することで、学習活動の共通理解を図る。</p> <p>○一度の説明で、たくさんの活動内容を伝えないようにする。</p> <p>○動きの説明は、ポイントが意識できるような具体的な言葉を選ぶようにする。</p> <p>☆「参加の促進」「スモールステップ化」について意識する場面</p> <p>◎大体の動きから、細かな動きの指導の順で児童のやる気を持続できるようにする。</p> <p>(C) 組み体操で、どうしてもできないときは、似た動きでいいことを伝え安心感をもてるようにする。</p> <p>(C) 手本となる友達の動きを見ながら、少しずつ合わせられるようにしていくことを伝える。</p> <p>☆「ポイントやコツの動きを言語化」について意識する場面</p> <p>(C) 教師の口伴奏（擬音語）等を用いてイメージしやすいように伝える。</p> <p>(C) 繰り返しの動きを何回も行うことが苦手な児童には、目標回数を伝え、どこまでできるかを事前に聞き確認を取る。（特別支援学級担任も）</p> <p>☆児童同士の学び合いについて意識する場面</p> <p>◎動きが止まっていたり、困っていたりしている児童に声を掛けることで、「やってみよう」という気持ちに向かえるようにする。</p>

		<p>◎ペアやグループの児童に、困っている様子が見られたら声を掛けてほしいことを伝える。</p> <p>☆「個別の配慮」について意識する場面</p> <p>◎主担当以外の教員が学級関係なく、児童間を巡視し、特別支援学級児童、気になる児童の動きを見て分からなそうなところを個別に指導する。</p> <p>◇技のポイントを知ること、一つ一つの技を覚えようとしている。 【知識・技能】</p> <p>◇友達同士で課題について教え合っている。 【思考力・判断力・表現力】</p> <p>◇友達の頑張りを認め、声を掛けるなど協力している。 【学びに向かう力・人間性等】</p>
<p>5 本時の課題をどこまで理解したか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かった。</li> <li>・なんとなく分かった。</li> <li>・よく分からない。</li> </ul> <p>服装の確認</p> <p>○演技のときは、半袖、短パンになる。</p> <p>学年担任からのまとめを聞く。</p>	5分	<p>☆「児童同士の伝え合い」について意識する場面</p> <p>◎今日の頑張ったことを隣の友達に伝え頑張りを認め合えるようにする。</p> <p>○何を伝えるのか、教師がキーワードを伝え、そのキーワードを使って言葉で伝えられるようにする。</p> <p>☆「ルールの共有化」について意識する場面に統一感を出すために、全体を揃えることを伝え、全員で気持ちを一つにすることを伝える。</p> <p>☆「参加の促進」について意識する場面</p> <p>児童が次時への意欲を高められるようにする。</p>

#### 本時の展開（3／7）

(1) ねらい ペアやグループでの技のポイントを知り練習することで、友達と協力しながら安定感のある技を完成することができる。

(2) 準備 CDデッキ 笛 太鼓

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	<p>○指導上の留意点及び支援</p> <p>(C)個別の配慮を要する児童への支援 ◇評価</p> <p>○研究上の手立て</p> <p>☆授業の基本シートに関わる活動場面</p>
<p>1 前時を振り返る。</p> <p>習ったところまでの動きの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だいたい覚えてた。</li> <li>・まだ、よく分からない。</li> </ul>	10分	<p>☆「肯定的な雰囲気づくり」と「学習環境の構造化」について意識する場面</p> <p>○並び方について一人一人が把握できているか確認をする。</p> <p>◎位置が分からない児童に声を掛けてあげて忘れないように、付け足しの指示をする。</p> <p>☆「ルーティン化」について意識する場面</p> <p>○笛の合図に合わせて行うことで統一感を意識できるようにする。</p> <p>○準備運動は、怪我のないようにどこを意識するか説明を加えながら行う。</p>
2 準備運動		

<p>友達を意識しながら動くことを通して、ペアやグループの技を完成させよう。</p>		
<p>3 本時のめあてをつかむ。          本時の課題理解          どこまでやるかの確認をする。          ○部分練習          ○全体で通して行う。</p>	<p>30 分</p>	<p>☆「情報提供の工夫」「共通課題の設定」について意識する場面          ◎何を、どのように、どこまでするのかを提示することで、学習活動の共通理解を図る。          ○一度の説明で、たくさんの取り組み内容を伝えないようにする。          ○動きの説明は、ポイントが意識できるような具体的な言葉を選ぶようにする。          ○見通しをもてるようにするために、身に付ける動きを教師が流して踊る。          ☆「参加の促進」「スモールステップ化」について意識する場面          ◎大体の動きから、細かな動きの指導の順で児童のやる気を持続できるようにする。          (C) リズム運動で難しい動きについて説明する。どうしてもできないときは、似た動きでよいことを伝え安心感をもてるようにする。          (C) 手本となる友達の動きを見ながら最初はとりあえずやってみることを知らせる。          ☆「ポイントやコツの動きを言語化」について意識する場面          (C) 教師の口伴奏（擬音語）等を用いてイメージしやすいように伝える。          (C) 繰り返しの動きを何回も行うことが苦手な児童には、目標回数を伝え、そこまで踊れるかを事前に聞き確認を取る。          ☆児童同士の学び合い（踊りの共有化）          覚えられない児童には、みんなで教えてあげて伝える。自分が教えることで、自分の理解の深まりを確認できることを伝える。          ☆「個別の配慮」について意識する場面          ◎主担当以外の教員が学級関係なく、児童間を巡視し、特別支援学級児童、気になる児童の動きを見て分からなそうなところを個別に指導する。          ◇流れを理解し、細かな動きに注意し取り組むことができる。 <b>【知識・技能】</b>          ◇自分と友達を意識しながら動こうとしている。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b>          ◇友達の動きを見ながらぶつからないように距離を保ちながら取り組むことができる。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b></p>
<p>4 本時の課題をどこまで理解したか振</p>		<p>☆「児童同士の伝え合い」について意識する場面</p>



り返る。 ・分かった。 ・なんとなく分かった。 ・よく分からない。  学年担任からのまとめを聞く。	5分	◎今日の頑張ったことを隣の友達に伝え頑張りを認め合えるようにする。 ○何を伝えるのか、教師がキーワードを伝え、そのキーワードを使って言葉で伝えられるようにする。 ☆「参加の促進」について意識する場面 児童が次時への意欲を高められるようにする。
------------------------------------------------------------------	----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 本時の展開（４／７）

(1) ねらい ペアやグループでの技のポイントを知り練習することで、友達と協力しながらお互いによくするための考えを出し合い、安定感のある技を完成することができる。

(2) 準備 CDデッキ 笛 太鼓

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 (C)個別の配慮を要する児童への支援 ◇評価 ◎研究上の手立て ☆授業の基本シートに関わる活動場面
1 前時を振り返る。 習ったところまでを、まとまりで踊れるかを確認する。 ・だいたい覚えてた。 ・苦手な動きがある。 ・動きの種類が多くて覚えられない。  2 準備運動	10分	☆「学習環境の構造化」について意識する場面 ○友達同士でぶつからないように距離を保つようにする。両手を広げて位置確認をする。 (C) 自分の位置に着いたら両手を広げるように個別に確認をする。 ◎間隔を保つために、お互いを意識して動くこと、また、位置が違う友達に声を掛けたり、手で合図を送ったりする。  ☆「ルーティン化」を意識する場面 ○笛の合図に合わせて行うことで統一感を意識できるようにする。 ○準備運動は、怪我のないようにどこを意識するか説明を加えながら行う。
友達を意識しながら動くことを通して、ペアやグループの技を完成させよう。		
3 本時のめあてをつかむ。 本時の課題理解 どこまでやるかを確認する。 ○遊競技の練習 ○組み体操最後の挨拶 学年男女別で1列になり本部に向かって挨拶をする。 4 踊りのポイントを知り、その動きがスムーズにできるようにする。	30分	☆「情報提供の工夫」「共通課題の設定」について意識する場面 ◎何を、どのように、どこまでするのかを提示することで、学習活動の共通理解を図る。 ○一度の説明で、たくさんの取り組み内容を伝えないようにする。 ○動きの説明は、ポイントが意識できるような具体的な言葉を選ぶようにする。 ○見通しをもてるようにするために、身に付ける動きを教師が流して踊る。

		<p>☆「参加の促進」「スモールステップ化」について意識する場面</p> <p>◎大体の動きから、細かな動きの指導の順で児童のやる気を持続できるようにする。</p> <p>(C) リズム運動で難しい動きについて説明する。どうしてもできないときは、似た動きでよいことを伝え安心感をもてるようにする。</p> <p>(C) 手本となる友達の動きを見ながら最初はとりあえずやってみることを知らせる。</p> <p>☆「ポイントやコツの動きを言語化」について意識する場面</p> <p>(C) 教師の口伴奏（擬音語）等を用いてイメージしやすいように伝える。</p> <p>(C) 繰り返しの動きを何回も行うことが苦手な児童には、目標回数を伝え、そこまで踊れるかを事前に聞き確認を取る。</p> <p>☆児童同士の学び合い</p> <p>○全体の動きの流れとずれている場合は、教師が相手に伝わる言葉掛けで互いに声掛けをするように伝えに行く。児童同士での声掛けを忘れないことを伝える。</p> <p>○技の成功率を高めるために、お互いに考えを出し合いながら技を完成できるように巡視する。</p> <p>☆「個別の配慮」について意識する場面</p> <p>◎主担当以外の教員が学級関係なく、児童間を巡視し、特別支援学級児童、気になる児童の動きを見て分からなそうなところを個別に指導する。</p> <p>◇流れを理解し、細かな動きに注意し取り組むことができる。 <b>【知識・技能】</b></p> <p>◇自分と友達を意識しながら動こうとしている。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <p>◇友達の動きを見ながらぶつからないように距離を保ちながら取り組むことができる。 <b>【学びに向かう力・人間性等】</b></p>
<p>5 本時の課題をどこまで理解したか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れがつかめた。</li> <li>・なんとなく分かった。</li> <li>・難しい動きがあった。</li> </ul> <p>学年担任からのまとめを聞く。</p>	5分	<p>☆「児童同士の伝え合い」について意識する場面</p> <p>◎今日の頑張ったことを隣の友達に伝え頑張りを認め合えるようにする。</p> <p>○何を伝えるのか、教師がキーワードを伝え、そのキーワードを使って言葉で伝えられるようにする。</p> <p>☆「参加の促進」について意識する場面</p> <p>児童が次時への意欲を高められるようにする。</p>

本時の展開（５／７）

- (1) **ねらい** 全体の動きが揃えられるようにするために、一人一人が技のポイントを意識し、友達を思った行動を取り、太鼓の音を聞いて動けるようにする。
- (2) **準備** CDデッキ 笛 太鼓
- (3) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 (C)個別の配慮を要する児童への支援 ◇評価 ◎研究上の手立て ☆授業の基本シートに関わる活動場面
<p>1 準備運動</p> <p>2 前時の動きの確認 習ったところまでの動きの確認 ・だいたい覚えてた。 ・まだ、よく分からない。</p>	<p>10 分</p>	<p>☆「ルーティン化」を意識する場面 ○笛の合図に合わせて行うことで統一感を意識できるようにする。 ○準備運動は、怪我のないようにどこを意識するか説明を加えながら行う。</p> <p>☆「学習環境の構造化」について意識する場面 (C)動きが遅れる児童への個別の声掛けをする。主担当以外の教師が回る。 ◎踊れないところがあっても自分の動きでよいことを伝え安心感をもてるようにする。</p>
<p>太鼓の音を聞きながら取り組むことを通して、全体の動きが揃えられるようにしよう。</p>		
<p>3 本時のめあてをつかむ。 本時の課題理解 どこまでやるかを確認する。 部分練習 全体練習 (太鼓の音と指示を合わせて出す)</p> <p>4 踊りのポイントを知り、その動きがスムーズにできるようにする。 学級ごとや列のグループ等で見せ合い、互いの動きのよさに気付く。</p>	<p>30 分</p>	<p>☆「情報提供の工夫」「共通課題の設定」について意識する場面 ◎何を、どのように、どこまでするのかを提示することで、学習活動の共通理解を図る。 ○一度の説明で、たくさんの取り組み内容を伝えないようにする。 ○動きの説明は、ポイントが意識できるような具体的な言葉を選ぶようにする。</p> <p>☆「参加の促進」「スモールステップ化」について意識する場面 ◎大体の動きから、細かな動きの指導の順で児童のやる気を持続できるようにする。 (C)リズム運動で難しい動きについて説明する。どうしてもできないときは、似た動きでよいことを伝え安心感をもてるようにする。 (C)手本となる友達の動きを見ながら最初はとりあえずやってみることを知らせる。</p> <p>☆「ポイントやコツの動きを言語化」について意識する場面 (C)教師の口伴奏（擬音語）等を用いてイメージしやすいように伝える。 (C)繰り返しの動きを何回も行うことが苦手な児</p>

		<p>童には、目標回数を伝え、そこまで踊れるかを事前に聞き確認を取る。</p> <p>☆児童同士の学び合いを意識する場面</p> <p>◎主担当以外の教師は、児童同士が声の掛け合いをしていたら褒める。全体にも広められるように授業の最後に伝える。</p> <p>☆「個別の配慮」について意識する場面</p> <p>◎主担当以外の教員が学級関係なく、児童間を巡視し、特別支援学級児童、気になる児童の動きを見て分からなそうなところを個別に指導する。</p> <p>◇始めから終わりまで、ポイント押さえ、ひと流れの動きで表現することができる。</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p> <p>◇友達の動きを見てよかったところを伝えることができる。</p> <p style="text-align: right;">【思考力・判断力・表現力】</p> <p>◇全体を意識し、合わせようとしながら取り組むことができる。</p> <p style="text-align: right;">【学びに向かう力・人間性等】</p>
<p>5 本時の課題をどこまで理解したか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の流れが踊れた。</li> <li>・まあまあ踊れた。</li> <li>・少し心配なところがある。</li> </ul> <p>学年担任からのまとめを聞く。</p>	5分	<p>☆「児童同士の伝え合い」について意識する場面</p> <p>◎今日の頑張ったことを隣の友達に伝え頑張りを認め合えるようにする。</p> <p>○何を伝えるのか、教師がキーワードを伝え、そのキーワードを使って言葉で伝えられるようにする。</p> <p>☆「参加の促進」について意識する場面</p> <p>児童が次時への意欲を高められるようにする。</p>

#### 本時の展開（6／7）

- (1) **ねらい** 全体の動きが揃えられるようにするために、一人一人が技のポイントを意識し、友達を思った行動をとり、太鼓の音を聞いて自分から動けるようにする。
- (2) **準備** CDデッキ 笛 太鼓
- (3) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	<p>○指導上の留意点及び支援</p> <p>(C)個別の配慮を要する児童への支援 ◇評価</p> <p>◎研究上の手立て</p> <p>☆授業の基本シートに関わる活動場面</p>
1 準備運動	10分	<p>☆「ルーティン化」を意識する場面</p> <p>○笛の合図に合わせて行うことで統一感を意識できるようにする。</p> <p>○準備運動は、怪我のないようにどこを意識するか説明を加えながら行う。</p>
2 前時の動きの確認 習ったところまでの動きの確認		<p>☆「学習環境の構造化」について意識する場面</p> <p>(C)動きが遅れる児童への個別の声掛けをする。主</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・だいたい覚えてた。</li> <li>・まだ、よく分からない。</li> </ul>		<p>担当以外の教師が回る。</p> <p>◎踊れないところがあっても自分の動きでよいことを伝え安心感をもてるようにする。</p>
<p>太鼓の音を聞きながら取り組むことを通して、全体の動きが揃えられるようにしよう。</p>		
<p>3 本時のめあてをつかむ。</p> <p>本時の課題理解</p> <p>どこまでやるかを確認する。</p> <p>手本を見て全体の流れ、動きを理解する。</p> <p>全体練習</p> <p>グループごとに練習</p>	<p>30分</p>	<p>☆「情報提供の工夫」「共通課題の設定」について意識する場面</p> <p>◎何を、どのように、どこまでするのかを提示することで、学習活動の共通理解を図る。</p> <p>○一度の説明で、たくさんの活動内容を伝えないようにする。</p> <p>○動きの説明は、ポイントが意識できるような具体的な言葉を選ぶようにする。</p> <p>☆「参加の促進」「スモールステップ化」について意識する場面</p> <p>◎大体の動きから、細かな動きの指導の順で児童のやる気を持続できるようにする。</p> <p>(C) リズム運動で難しい動きについて説明する。どうしてもできないときは、似た動きでいいことを伝え安心感をもてるようにする。</p> <p>(C) 手本となる友達の動きを見ながら最初はとりあえずやってみることを知らせる。</p> <p>☆「ポイントやコツの動きを言語化」について意識する場面</p> <p>(C) 教師の口伴奏（擬音語）等を用いてイメージしやすいように伝える。</p> <p>(C) 繰り返しの動きを何回も行うことが苦手な児童には、目標回数を伝え、そこまで踊れるかを事前に聞き確認を取る。</p> <p>☆児童同士の学び合いを意識する場面</p> <p>◎全体の動きを見て、ポイントを押さえながら踊っているよい動きをしている児童を見付け、教師は全体に伝える。その友達を見て自分も取り組めるように意識できるようにする。</p> <p>☆「個別の配慮」について意識する場面</p> <p>◎主担当以外の教員が学級関係なく、児童間を巡視し、特別支援学級児童、気になる児童の動きを見て分からなそうなところを個別に指導する。</p> <p>◇始めから終わりまで、ポイント押さえ、ひと流れの動きで表現することができる。</p> <p style="text-align: right;"><b>【知識・技能】</b></p> <p>◇友達の動きを見てよかったところを伝えることができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <p>◇全体を意識し、合わせようとしながら取り組むこ</p>

		とができる。 【学びに向かう力・人間性等】
4 本時の課題をどこまで理解したか振り返る。 ・全体の流れが踊れた。 ・まあまあ踊れた。 ・少し心配なところがある。  学年担任からのまとめを聞く。	5分	☆「児童同士の伝え合い」について意識する場面 ◎今日の頑張ったことを隣の友達に伝え頑張りを認め合えるようにする。 ○何を伝えるのか、教師がキーワードを伝え、そのキーワードを使って言葉で伝えられるようにする。 ☆「参加の促進」について意識する場面 児童が次時への意欲を高められるようにする。

#### 本時の展開（7／7）

- (1) **ねらい** 組み体操を成功させるために、みんなで気持ちを一つにする。始めから終わりまで集中して全力で取り組む。
- (2) **準備** CDデッキ 笛 太鼓
- (3) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 (C)個別の配慮を要する児童への支援 ◇評価 ◎研究上の手立て ☆授業の基本シートに関わる活動場面
1 準備運動	10分	☆「ルーティン化」を意識する場面 ○笛の合図に合わせて行うことで統一感を意識させる。 ○準備運動は、怪我のないようにどこを意識するか説明を加えながら行う。 ☆「学級内の相互理解（個々の目標づくり）」について意識する場面 ◎練習前に個々が立てた組み体操の目標に近づくことができたかを意識できるようにする。 ○目標が達成できるようにこの時間でまとめられるように頑張してほしいことを伝える。
始めから終わりまで、練習してきた動きを全員で合わせて踊ろう。		
2 最終確認 一つ一つの動きを確認する。 位置確認を行う。 ペア、グループの確認をする。	30分	○動きが一番難しかった部分の確認をすることで、全体の動きがまとまりあるものになるようにしていく。
3 本時のめあてをつかむ。 本時の課題理解 どこまでやるかを確認する。		☆「学習内容の焦点化」「参加の促進」について意識する場面 ◎できる技をしっかりと行う。 ◎失敗しても切り替えて行う。 ◎学習活動の共通理解を図る。
4 始めから終わりまで通して踊る。 ・全部覚えた。 ・まだ、踊れないところがある。		☆「参加の促進」について意識する場面 ◎最初から最後まで通して行い練習を終わりにすることを伝え、一回の練習を本番のように取り組

		<p>んでほしいことを伝える。</p> <p>◇ポイントを押さえながら最初から最後まで技を連続して行うことができる。</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p> <p>◇全体の動きに合わせようと周りの動きを見ながら主体的に活動に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">【学びに向かう力・人間性等】</p>
<p>5 全体練習を通して一人一人の頑張りを認め合う。</p> <p>学年担任からのまとめを聞く。</p>	5 分	<p>◎これまでの練習を振り返り、みんなが頑張ってきた過程を褒める。</p>